

はげみ

第93号 2025. 8. 26

(公社)津法人会 青年部会
津市広明町121番地 津税理士会館4階
TEL(059)225-1302



(Instagram)



(ホームページ)

提 言

人材は育つもの？ ～教育をめぐる企業の静かな誤解～

「企業は人なり」。昭和の経営者たちは、まさにこの言葉を信じて疑わなかったように思います。

新人は右も左も分からずとも、「育てるのが会社の責任」と、先輩や上司が手間と時間を惜しまず、時に厳しく、時に温かく接していたものです。

平成に入ると、少し空気が変わりました。バブル崩壊や就職氷河期を経て、企業の体力も限界が見えはじめ、「即戦力」という言葉が頻繁に聞かれるようになりました。新人を一から育てる余裕はなく、「できる人を採る」「育たない人は淘汰される」といった流れが強まりました。

そして令和。働き方改革、ダイバーシティ、副業解禁、AIの登場。環境はさらに複雑化し、正解のない時代になりました。

ところが、そのような激動の時代でありながら、企業の多くは、「教育は学校がやるもの」「学びは個人の自助努力」と、どこか“他人任せ”な姿勢を続けているようにも見えます。

ここで一つ、問いかけてみたいのです。

人材は、果たして放っておいて育つものなのでしょうか？

時代が進むにつれて、「教育はコスト」という考え方が強まりました。

確かに、育てた人が辞めてしまうリスクはあります。

しかし、育てないまま残った人材に、果たして企業の未来を託せるのでしょうか？

教育を「費用」と見るか、「未来への投資」と見るか。

その姿勢こそが、企業の本質を問われているポイントではないかと思います。

昭和の時代には、口下手な上司が自分の背中で語り、失敗して学ぶ場が社内がありました。

平成では、マニュアル化・効率化が進み、「学び」は業務外のものとされる風潮が生まれました。

令和では、個人がSNSやYouTubeで知識を得られる時代です。しかしそれだけで「思考力」「人間力」「仕事観」が育つわけではありません。

特に若手社員にとって、「会社がどれだけ自分を育ててくれる気があるか」は、職場への信頼に直結します。

逆にいえば、「ここで学べないなら、別の場所を探す」という発想もごく自然なものです。

今、世の中では「リスキリング」や「越境学習」といった言葉が飛び交い、学び直しの重要性が語られています。

しかし、それらを単なる“流行語”として消費しては、何も変わりません。

大切なのは、「学ぶことを応援する文化」を、企業の中に根付かせることです。

それは決して大げさな取り組みではなく、たとえば「上司が自分の学びを語ること」「部下に学びの時間を与えること」など、日常の小さな工夫から始められることです。

かつて、企業は学校であり、道場でもありました。

仕事を通じて、人が育ち、育て合い、支え合ってきた時代。

その精神を、今こそ少し立ち止まって思い出してみてもよいのではないのでしょうか。

最後に、もう一度だけ問いかけたいと思います。人材は、何もしなくても育つのでしょうか？

昭和の時代にあった“育てる気概”。

平成の時代に生まれた“効率重視の知恵”。

令和の時代に求められる“学びの共創”。

それらを丁寧につなぎ直していくことが、これからの企業にとっての「教育」ではないのでしょうか。

そしてそれが、社会全体の“未来を育てる力”にもなると、私は信じています。

新部会長からのメッセージ

公益社団法人 津法人会 青年部会 部会長 下津 浩嗣



このたび、公益社団法人津法人会青年部会の第23代部会長を拝命いたしました、下津浩嗣でございます。歴代の部会長には、地域を代表する経営者として高い見識と実行力を持つ方々が名を連ねており、大変光栄で

あると同時に、身の引き締まる思いでこの役をお受けいたしました。

私自身は2002年に青年部会に入会して以来、20年以上にわたって多くの貴重なご縁と学び、経験をこの場からいただいております。このたびの就任は、そうしたご恩に少しでもお応えする機会であると受け止め、微力ながらも誠心誠意、2年間の任を全うしてまいります。

時代は大きく変化しています。新型コロナウイルス感染症の拡大という未曾有の危機を経て、社会の構造も、企業活動のあり方も、私たち一人ひとりの価値観も大きく変わりました。加えて、自然災害や経済の不確実性、国際情勢の影響など、私たちは将来の見通しが非常に立てづらい時代に生きています。

このような時代だからこそ、同じ地域で切磋琢磨する経営者・後継者が集い、本音で語り合い、学び合い、気づきを得ることには、これまで以上に大きな意味があると考えています。私たち青年部会が、そのような「共に歩む場」であることを、改めて大切にしていきたいと思っております。

私は、2年間の活動スローガンとして「ゆるく・楽しく・時にまじめに」という言葉を掲げさせていただきます。ゆるくて楽しいからこそ、人は自

然と集まれる、そして、“人が集まるからこそ、会には価値が生まれる”。これは私が青年部会での20年余の活動の中で、身をもって実感してきました。もちろん、そこに集うのは、それぞれの業界・現場で真剣に経営に取り組む仲間たちです。だからこそ、普段の懇親の場や何気ない会話の中でも、「まじめな経営の話」や、「人にはなかなか話せない本音」が自然と生まれてきます。そうした瞬間にこそ、ヒントや気づきが詰まっていると信じています。

また、青年部会の大きな柱のひとつである租税教育活動についても同様です。私たちがまじめに構築してきた租税教室のカリキュラムを、“楽しく”伝えることこそが、子どもたちの印象に残り、地域社会に対する理解や関心を高めるきっかけになります。そして、税を学ぶこと・伝えることは、私たち自身の経営にも必ず生きる「研鑽の場」です。

もう一つ、近年改めて注目されているのが健康経営です。経営者自身や従業員が健康であることは、事業の持続性や組織力を高めるうえで欠かせない要素です。青年部会の活動の中には、ウォーキングキャンペーンを始めとして、会員企業が健康経営に取り組むきっかけやヒントが多くあります。青年部会という場を通じて、メンバーそれぞれが自社の健康経営にも取り組むきっかけとなれば幸いです。

平野前部会長の「交流・研鑽・挑戦」というキーワードを受け継ぎながら、それらを“ゆるく・楽しく・時にまじめに”実践する。そんな2年間で、皆さまと共に築いていけたらと願っております。

退任挨拶

公益社団法人 津法人会 青年部会 直前部会長 平野 真也



津法人会青年部会の部会長の退任にあたり、この2年間会員各位に多大なご支援とご協力を賜りました事、改めて篤く御礼を申し上げます。本当にありがとうございます。ありがとうございました。

また、事務局の皆様や卒業されたOBの皆様にも大変お世話になりました事、本当にありがとうございます。

2年前に吉村直前部会長からバトンを受け継いだ時には、どういう形でこの青年部会を活性化しようかという事を手探りで始めた形になりました

が、私が掲げた3つの柱「交流、研鑽、挑戦」において、それぞれ形を作れた2年間だったのではと思っております。

まず租税教室におきましては、コロナ禍からも明け、毎年10校強の開催を安定的に続ける事ができました。

津のまち税金マップを活用した新カリキュラムも安定して運用でき、多くの小学6年生に税金を楽しく学んでもらう事ができたと思います。税制委員会の皆様を中心に、学校との調整・準備・講師等にご尽力いただき、ありがとうございました。

また、税制委員会の新メンバーや税制委員会以外の理事でも、初参加をしてもらったメンバーも

ありがとうございました。

租税教室が今後も青年部会の大事な事業として、多くのメンバーが関わる事業に成長していく事を期待します。

研修例会についても、研修委員会の運営で色々な研修を実施いただき、会員の成長や学びに繋がりました。研修委員会の皆様、ありがとうございました。

厚生委員会の皆様には、懇親会・忘年会・ゴルフコンペなどの段取りや運営で、会員交流の場を積極的に作っていただき、本当にありがとうございました。全国大会での懇親会でも、良いお店を段取りいただき、本当にありがとうございました。

組織委員会の皆様には拡大デーを中心に、会員増強にご尽力いただき、ありがとうございました。

会員数が少しずつ減ってきている状況ですので、引き続き組織委員会を中心に全会員が拡大にご協力いただきたく、よろしくお願いします。

広報委員会の皆様には、はげみの作成と、青年部会インスタグラムの運営をしていただき、ありがとうございます。

今後も、会員にも非会員にも、青年部会の活動を知ってもらえるような積極的な広報をお願いします。

ます。

また、「健康経営プロジェクト」におきまして会員の皆様に「企業版健康経営宣言書」の作成および活用のご協力、ありがとうございました。

また年3回のウォーキングキャンペーンにおきましても、新しく参加したメンバーも含め、積極的なご参加と、またエースチームの全国上位入賞へのご協力、誠にありがとうございました。引き続き、健康経営への推進をよろしくお願いいたします。

そして、第37回全国青年の集い山形大会と、第38回全国青年の集い福井大会への多数の会員の方のご参加ありがとうございました。

新しい学びや全国との交流、そして津法人会青年部会としても深い交流ができました、ありがとうございました。

今後は、下津新部会長を支えて、さらに青年部会が活性化するように微力ではございますが、尽力して参ります。

結びとしまして、ご支援ご協力を賜りました津税務署の皆様、本会の皆様、女性部会の皆様、事務局の皆様、会員の皆様に改めて感謝を申し上げます、2年間本当にありがとうございました。

令和7年度基本方針

よき経営者を目指すものの団体として、会員の積極的な自己啓発を支援し、納税意識の向上と企業経営及び社会の健全な発展に繋がる事業を行っていきます。

公益法人として、租税教育、講演会研修会の一般公開を中心とした地域貢献活動にもさらに力を入れ、また会員交流も積極的に行います。

1. 会員研修 — 会員の自己啓発を支援し、企業経営の健全な発展に繋がる研修を行います。
2. 税制研修 — 正しい税の知識を身につけ、納税意識の向上を目指し研修会を行います。また、「e-Tax」の普及推進に努めます。
3. 会員拡大 — 会の存続・発展に繋がる積極的な会員拡大を行います。
4. 会員親睦 — 信頼できる仲間作りを目指し、会員親睦の機会をつくっていきます。
5. 広 報 — 広報誌である「はげみ」とインターネットのホームページ・SNSを通じて法人会青年部会活動の広報を行います。
6. 関連団体 — 本会事業への参加並びに三重県法連、東海法連、全法連の各種事業へ参加し連携を深めるとともに、青年部会事業活動への参考とします。
7. そ の 他 — 必要に応じて上記の基本方針を達成するための事業を行います。

令和7年度事業計画

月	行	事	本 会
4 月	活動報告会 研修会 親睦ボウリング大会 広報誌「はげみ」発行 研修会 全国青年の集い山梨大会 (20日、21日) 会員拡大デー 12月例会・ゴルフコンペ 新年交流会 研修会 広報誌「はげみ」発行	租 税 教 育 事 業	総会 (22日)
5 月			
6 月			
7 月			
8 月			
9 月			
10月			
11月			
12月			
1 月			
2 月			
3 月			
役員会は毎月開催 HP・SNS更新は随時			

令和7年度予算

(令和7年4月1日～
令和8年3月31日)

(1) 収入の部 (円)		
項 目	予 算 額	備 考
会 費 収 入	564,000	各種事業収入
行 事 収 入	1,135,000	
本 会 助 成 金	700,000	
雑 収 入	1,000	
合 計	2,400,000	
(2) 支出の部 (円)		
項 目	予 算 額	備 考
事 業 費	2,045,000	広報誌等 振込手数料
広 告 費	300,000	
会 議 費	30,000	
雑 費	5,000	
予 備 費	20,000	
合 計	2,400,000	

(公社)津法人会青年部会定時総会 開催される

令和7年5月22日、津税務署 署長 高橋孝子様をはじめ、多くの来賓のご臨席を賜り、ホテル津センターパレスにて令和7年度の活動報告会が行われました。平野部会長が議長を務め、その進行のもと、令和6年度の事業報告および収支決算、並びに令和7年度の事業計画および収支予算が報告されました。

記念講演会

日 時：令和7年5月22日(木) 15:00~16:30

場 所：ホテル津センターパレス



「対話型AI・生成型AIなど 人工知能の現在と未来」

講 師 ITジャーナリスト/ライター 三上 洋氏

令和7年度の記念講演会では、「対話型AI・生成型AIなど人工知能の現在と未来」と題し、ITジャーナリストでテレビにも多数出演されている三上洋氏をお迎えし、AIの現状や成り立ち、活用方法などについてご講演いただきました。

その中で、AIとは何か、どのように機械学習や深層学習が活用されているかについて基本的な部分からわかりやすくご説明いただきました。その後、ChatGPTを実際に起動し、スマホからの写真を画像情報として瞬時に読み取り、文字へ変換するデモンストレーションを披露されました。瞬時にこなしているこの簡単な行動こそがAI活用の第一歩であるとおっしゃり、まずはスマホからAIアプリを1つダウンロードするところから

始めましょう、という非常に取り組みやすい内容でスタートしました。

その後、これからのAI活用として企業や業務におけるAI導入の具体例をいくつかご紹介され、製造業、物流、マーケティング、カスタマーサポートなど、幅広い分野での活用可能性についてご教示いただきました。一方で、AIとの関わり方や組織内での役割分担を明確にしていくことが今後の課題であるともお話しされていました。

この講演を通じて、AIの進化は目まぐるしく、データ量が指数関数的に増加する事で、正確かつ迅速に仕事をこなすAIと、それを使いこなす我々も進化する必要があることを再認識いたしました。ご講演頂いた三上洋様には改めて感謝申し上げます。



本年度卒業される方 (順不同・敬称略)



青山 好一	(株)青山商店荷役
西井 孝之	(株)エヌ・エス・アイ
亀井 隆典	亀井機工(株)
川北 哲久	(有)カワギタ硝子
宇戸平敏寿	(株)紀州産業
福島健一朗	(株)こだま
森田 哲	Sunflowerキッチン(株)
尾崎 正彦	(有)盛功社印刷
松島 康雄	(株)創建
大河内 粹	大豊工業(有)
川原田直希	(医)久居病院
中西 啓喜	(株)百五総合研究所
最上 幸助	(株)最上工務店

租税教育活動 津市教育委員会贈呈式

3月27日、津市教育委員会を訪問し、税金が使用された工事等の写真を掲載したクリアファイルと租税教育用冊子を、津市内の全小学5年生、6年生に配布していただくよう、贈呈させていただきました。

また、森昌彦教育長から、租税教室への取り組みについても、感謝のお言葉をいただきました。



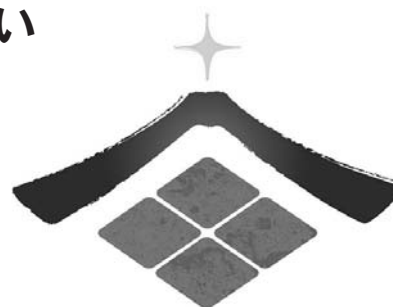
第39回 法人会 全国青年の集い

山梨大会

【会場】YCC県民文化ホール
甲府記念日ホテル
アイメッセ山梨

2025年 11/20^木 ▶ 21^金

人は石垣 人は城
光り輝く未来のために
YAMANASHI 2025



人は石垣 人は城
光り輝く未来のために
YAMANASHI 2025

《 会 員 拡 大 》

新しく、(公社)津法人会青年部会に入会される方をご紹介します!!

青年の持つフレッシュな感覚と行動をもってお互いに啓発と親睦を図り「経営基盤の確立」と「後継者づくり」が大きな目的です。

50才までの方であれば会社の役員、従業員、男女等問いません。

●会費…年額6,000円 詳しくはお近くの青年部会役員が事務局へお問い合わせ下さい。

事務局／津市広明町121 津税理士会館4階 TEL059-225-1302 FAX059-227-6085

<http://www.tsu-hojinkai.or.jp/> E-mail:hojinkai@mint.or.jp

租税教育活動報告

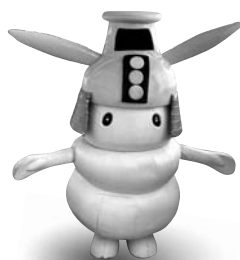
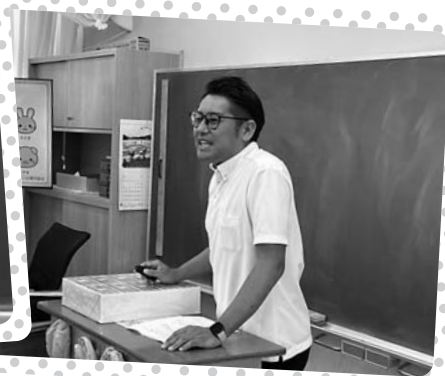
令和7年度1学期の租税教室では、市内の9校の小学校を訪問し、子どもたちに税の役割や重要性についてわかりやすく伝える活動を行いました。

授業では、ワークショップ形式で、グループごとに分かれる学校もあれば、個別に考えて問題を解く学校など様々な形で対応いたしました。また、ご当地キャラクターのシロモチくんも登場し、税金の使い道や仕組みについて楽しく学べる工夫を凝らしました。子どもたちはクイズを通じて税の

大切さを実感し、最後まで興味を持って参加してくれました。

そして、講師を務めた当会メンバーにとっても、子どもたちとのやり取りや授業を通じて、伝える力や理解力を高める貴重な機会となりました。今後も講師の参加者を増やしていくとともに、このような取り組みを継続し、次世代への税教育に積極的に取り組んでまいります。





令和7年度

租税教室



開催日程

- ・ 津市立上野小学校 5月12日(月)
- ・ 津市立香良洲小学校 5月26日(月)
- ・ 津市立明合小学校 5月29日(木)
- ・ 津市立雲出小学校 6月6日(金)
- ・ 津市立大三小学校 6月11日(水)
- ・ 津市立戸木小学校 6月17日(火)
- ・ 津市立桃園小学校 6月27日(金)
- ・ 津市立南が丘小学校 7月4日(金)
- ・ 津市立豊が丘小学校 7月14日(月)
- ・ 津市立藤水小学校 9月4日(木)
- ・ 津市立敬和小学校 1月予定

子ども達に税の大切さを
学んでいただきます。
講師・シロモチくん役(?)として
是非ご参加ください。

いもいもはげみ!

第41回

マラソン大会に出てみよう

前回、富士登山のお話をしましたが、ウォーキングキャンペーンの間に何か出来ないかなと考えていた所、K北先輩に「マラソン楽しいよ」と言われ、じゃあ出てみようかなと軽い気持ちで返事をしたのですが、富士山に登ったり、ウォーキングで30キロ歩けても、今までの人生で5キロ以上走ったこともなかったので、走れる自信は全くなく、不安しかありませんでした。とりあえず何か大会を探してみようと思い調べてみることにしました。(クリスマスの時期だったと思います) 2・3月のマラソン大会はすでに受付終了していて、2月に毎年行われる津シティマラソンも受付終了していました。4月で探してみると、4月23日の岐阜清流ハーフマラソンがエントリー可能でしたので、申し込みをしました。参加費は10,000円くらいだったと思います。

ということで、まずはスポーツショップにシューズを買いに行ったのですが、キロ5分～とか書いてあっても自分が何分で走れるのか？何を選んで良いのか？わからず、店員さんに勧めらるがままにシューズとインソールを購入しました。(インソールは重要らしいです)

そして年明け1月5日から練習を開始することにしました。最初はたしかキロ7分ちょっとペースで2キロくらいしか走れなかったと思います！！2キロでこんなにしんどいのか！これはちょっと真面目に練習しないとやばいと思い、練習方法を調べ、そしてK北先輩に「VDOT『自分の走力のものさし』で練習してみな」と教えてもらい、「イージーランニング走」(会話しながら走れるペース、走ろうと思えば長い時間走れるペース、そして心拍数が140位(自分の場合))で練習したら次第に走れるようになるとアドバイスを頂き、これで練習を週2～3回続けました。

1カ月後にはキロ6分30秒ペースで5キロくら

い走れるようになり、2か月後にキロ6分30秒で10キロ走れるようになりました。ある程度練習を重ねてとうとう本番を迎えました。初マラソンの緊張からか、前日はあまり眠れなかった記憶があります。

目標は2時間30分でスタートしました。

10キロまでは周りのペースに引っ張られてキロ6分くらいのペースで折り返しましたが、徐々に疲れが出てきたのと、足の裏やふくらはぎに痛みが出てきてさらにペースが落ち、結局2時間20分でFinishしました。(目標はクリアしましたが)途中の応援や給水、食事はかなり助けられ励まされたのを覚えていて、ものすごくしんどかったですが達成感がありました♪そして次は目標のフルマラソンに挑戦する事になりますが、ハーフでこれだけしんどかったら倍の距離のフルマラソンはどうなるの！と不安しかありませんが、12月の松阪マラソンまで8カ月頑張れば何とかかなるかなと思ひ、また練習を開始しました。

松阪マラソンの前に、今回は何回か20キロ・30キロを数回走り本番を迎えましたが、当日は寒さと風の強さでスタート前から気持ちが折れそうになりつつも、スタートを迎えました。

初のフルマラソンは練習でも走ったことの無い30キロ以降、足の疲労や痛みに加え、何度かある登り坂に心が折れそうになりながらも、沿道の応援に励まされ何とか4時間35分でFinishしました。

終わった直後はあまりのしんどさに来年はもう出ないと誓うのですが、翌年エントリーが始まると去年のしんどさを忘れてエントリーをしてしまっています(笑)

ちなみに去年は4時間13分で20分記録更新、今年はひそかに4時間切りを目標に頑張ります。少しずつでも過去の記録を更新できればと思っていますし、県外の大会にも挑戦したいと思っています。

そして今年は、弊社社員にもウォーキングだけでは物足らなくなった者がおりまして、初フルマラソンに挑戦しますのでいっしょに頑張りたいと思います。